

- 開所 40 周年！埋蔵文化財センター特集 ・ P1～2
- 文化財を継承する . . . . . P3
- 遺跡の範囲内で工事をおこなう際には、  
届出が必要です P4
- コラム『遺跡を撮る』 詰石麻貴 . . . . . P4

## 開所 40 周年！埋蔵文化財センター特集

新年度になりました。令和 8 年度 1 回目の特集は、今年度開所 40 周年を迎える、“埋蔵文化財センター” についてご紹介します。



文化財課イメージキャラクターともちゃん



### 埋蔵文化財、埋蔵文化財センターとは

地中にある文化財を埋蔵文化財と呼びます。また、発掘調査により出土した土器や石器などを遺物といいます。

静岡県内には、現在「文化財」と名の付くセンターが 10 か所あります。これらの中で、最初に建てられた“埋蔵文化財センター”が磐田市埋蔵文化財センターです。

埋蔵文化財センターは、一般的な博物館や資料館とは異なり、埋蔵文化財の調査と遺物等の整理・保管（収蔵）を主な目的とする施設として、昭和 50 年代後半から全国に設置されるようになりました。

磐田市埋蔵文化財センターは、昭和 59・60 年度に建設され、昭和 62 年（1987）1 月 1 日に開所しました。

遺物の収蔵庫と整理作業をおこなう部屋のほか、1 階の一部に展示スペースも設け、市内から出土した遺物を時代ごとに展示しています。



館内の様子



## 磐田市埋蔵文化財センターができる以前

旧磐田市では、県や市等の施設だった、複数の古い木造の建物に遺物を保管し、整理作業もそこでおこなっていました。

右の写真は、見付にあった旧農業事務所を収蔵施設として利用していた時の写真です。広さは120坪あり、内部には遺物を収納したコンテナが積まれて並んでいました。



中央町収蔵庫外観



中央町収蔵庫内部

旧見付学校も、昭和52年頃の解体修理以前には、遺物が保管され整理作業もおこなわれていました。

埋蔵文化財センターが完成し、文化財行政の拠点がセンターにうつり、こうした施設からも遺物を移動しました。開所当時、コンテナは約3,000箱でした。現在、その数は約8,000箱になり、棚だけでは収まらず、棚の周囲にもコンテナを積み上げています。



完成当時の埋蔵文化財センター



完成当時の収蔵庫



## 40年の変化

この40年の間に、遺物の整理方法にも変化がおきています。遺物の洗浄や注記作業は、従来とあまり変わりませんが、写真撮影はフィルムからデジタルに変わり、図の浄書(トレース)は製図ペンによる手書きからパソコンでの作業になりました。また、遺物の実測は一部で三次元計測をおこなうようになりました。しかし、遺物を観察しながらの人手による図化作業が基本であることは変わりありません。

遺跡や整理された遺物の図や写真は、調査報告書に掲載されます。これまでに刊行した報告書は、市内の図書館で見ることができます。

それぞれの仕事については、過去の文化財だより(第146号)でも紹介しているので、ぜひバックナンバーをご覧ください。



### ■磐田市埋蔵文化財センター■

静岡県磐田市見付 3678-1  
(市立中央図書館東側建物)

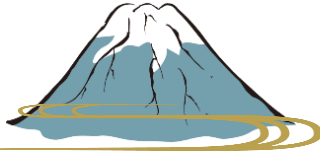
【開館時間】 8:30~17:00

【休館日】 祝日・年末年始

TEL:0538-32-9699

ご来館お待ち  
しています!





# 文化財を継承する

ふじのくに文化財保存・活用推進団体の紹介①

文化財を守り、将来に継承していく上で、地域の方々の協力は不可欠です。静岡県では、令和2年度から文化財の保存・活用に取り組む民間団体を『ふじのくに文化財保存・活用推進団体』として認定しています。このシリーズでは、磐田市内で活躍する11の認定団体をシリーズで紹介します。

## ■磐田観光ボランティア「ふれあいガイドの会」

(平成10年設立/令和2年度認定)

磐田市を訪れる観光客や市民に向けて、市内の自然風土や歴史文化等を紹介しています。国分寺まつりでは、国分寺跡を一望する展望ツアーでガイド役を担っています。

また、会員の知識習得のために、勉強会や現地見学などもおこなっています。

ガイドについてはコチラ



国分寺まつり「展望ツアー」でのガイド

## ■掛塚屋台囃子保存会(昭和45年設立/令和2年度認定)



イベント出演時の様子

県指定無形民俗文化財である、掛塚祭屋台囃子(※)を普及・伝承している団体です。

竜洋西地区の小学校・保育園にて、祭囃子の指導をすると共に、諸施設等への慰問演奏、市内外のイベント等への出演などをおこなっています。

(※)掛塚祭屋台囃子についてはコチラ



## ■磐南文化協会(昭和53年設立/令和2年度認定)

磐南地域(磐田市、袋井市、森町)における歴史文化を調査研究し、後世に継承していく活動をしています。会員の調査研究の成果として、毎年「磐南文化」(※)を発行しています。また、郷土の歴史研究に多大な功績を残した郷土史家に磐南文化賞を授与しています。随時会員を募集しています。



磐南文化

(※)磐田市立中央図書館、磐田市立図書館ホームページの電子書籍サービスで閲覧できます

ふじのくに文化財保存・活用推進団体の制度、市外の認定団体等について、詳しくは右二次元コードからご覧ください。



## 遺跡の範囲内で工事をおこなう際には、届け出が必要です



工事立会いの様子（見付端城遺跡）

磐田市には、300 を超える埋蔵文化財（遺跡）が存在しています。しかし、埋蔵文化財は、地下に埋もれているため、知らずに工事をおこなうと埋蔵文化財が破壊されたり、失われたりしてしまう恐れがあります。遺跡の範囲内で掘削を伴う工事をおこなう場合は、その規模に関係なく、計画の段階で文化財課にご相談ください。

土木工事などの目的で遺跡の範囲内で工事をおこなう場合、文化財保護法の定めにより、工事着手の 60 日前までに届け出をすることが義務づけられています。

遺跡の範囲確認は、文化財課窓口のほか電子申請、メールでも受け付けています。詳しくは市のホームページをご確認ください。

ご理解とご協力をよろしく申し上げます。



市 HP 該当ページ

問合せ先 文化財課 TEL:0538-32-9699/FAX:0538-32-9764

### 職員リレー コラム

### 遺跡を撮る

詰石 麻貴

新年度になりました。この時期になると、文化財課に就職したばかりの頃、発掘現場でフィルムカメラの使い方を教えてもらったことを思い出します。

あれから 10 年あまり、フィルムを取り巻く状況もかわり、現在は市内の発掘現場ではデジタルカメラのみを使用しています。さらに、近年では空中撮影も、ドローンを使って一部文化財課でおこなっています。



ドローンとコントローラー

発掘調査での写真だけでなく、ドローンを使うことで普段の視点とは異なる高さで見る遺跡や文化財の姿をみなさんにお見せ出来るよう、訓練を積み、その成果を文化財だよりやインスタグラムなどで公開出来たらと思っています。

文化財課のドローンは、機体本体とカメラのレンズが一体化しており、撮影する際に手元のコントローラーで画角を確認しながら撮影できるという利点があります。しかし、ドローン（カメラ）は空中にあるため、鳥や風、電線など様々なことに注意しなければならないという難しさもあります。



整備の進む遠江国分寺跡（令和 8 年 3 月ドローンにて撮影）

編集  
後記



文化財課のInstagramはコチラから！ぜひ、「フォロー」、「いいね」をお願いいたします。

発行：磐田市スポーツ文化観光部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699



◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)